

作成日 2024 年 6 月 22 日
(最終更新日 2024 年 9 月 2 日)

「情報公開文書」 (Web ページ掲載用)

受付番号 : 5057

課題名 : 熱傷の予後スコアリングシステムの比較検討

1. 研究の対象

2016 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日までの期間で防衛医科大学校病院救命救急センターに搬送され、熱傷と診断されて入院となった症例を対象とします。

2. 研究期間

研究実施許可日～2024 年 12 月 31 日

3. 試料・情報の利用及び提供を開始する予定日

当院で試料・情報の利用を開始する予定日及び外部への提供を開始する予定日は以下の通りです。

利用開始予定日 : 研究実施許可日

提供開始予定日 : 単独研究であるためありません。

4. 研究目的

本邦では一般的には重症熱傷の予後を熱傷予後指数 (Prognostic Burn Index 以下、PBI) が、用いられています。一方で海外では PBI は一般的ではなく他の予後スコアによる評価が一般的です。2016 年 1 月 1 日から 2024 年 3 月 31 日で防衛医科大学校病院救命救急センターに搬入され、熱傷の診断で入院となった症例のうち 67 例 (来院時心肺停止症例および当院から他院へ転送となった症例を除く) において改訂ボースコア (Revised Baux Score 以下、RBS)、Abbreviated Burn Severity Index (以下 ABSI)、Belgian Outcome in Burn Injury (以下 BOBI) でスコアリングし、スコアと転帰の関係について後ろ向きに検討を行います。その結果から PBI が熱傷予後スコアとして妥当であるのかを調査します。

5. 研究方法

対象期間中の熱傷症例について年齢、性別、熱傷面積 (深度別)、救急科から転科あるいは退院した時の転帰、気道熱傷の有無を収集します。収集後にそれらの情報を基に PBI、ABSI、BOBI、RBS をスコアリングします。最終転帰を目的変数、各スコアを説明変数として ROC 曲線を描出して AUC 値を算出します。なお、本研究は自施設のみで実施される研究であるため、他施設に試料・情報等の提供は行いません。

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報 : 年齢、熱傷面積、気道熱傷の有無、救急科を転科あるいは退院した際の転帰

7. 外部への試料・情報の提供

該当しません。

8. 研究組織

本校単独研究になります。

9. 研究費・利益相反（企業等との利害関係）について

本研究は、研究責任者のグループにより公正に行われます。本研究の利害関係については、現在のところありません。今後生じた場合には、所属機関において利益相反の管理を受けたうえで研究を継続し、本研究の企業等との利害関係について公正性を保ちます。

この研究の結果により特許権等が生じた場合は、その帰属先は研究機関及び研究者等になります。あなたには帰属しません。

10. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

当院における照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

担当者の所属・氏名：防衛医科大学校病院救急部 梶山 翼

住所：〒359-8513 埼玉県所沢市並木 3-2

連絡先：04-2995-1511（内線 5354）電話対応時間 9時から 16時

Gen377@ndmc.ac.jp

当院の研究責任者：防衛医科大学校病院救急部 梶山 翼